

# 2021(令和3)年4月4日 長岡宮跡を歩く

梅花女子大 市瀬雅之先生

西向日駅→長岡宮朝堂院西第四堂跡→西国街道→五辻常夜灯→向日神社(元稲荷古墳、北山遺跡、昼食)→長岡宮宝幢跡→大極殿跡→内裏跡→築地跡→西向日駅 (予定)



西向日駅西口

大極殿通り

今日は殆ど  
長岡宮の中を  
歩きます

**長岡京** 東西4.3k、南北5.3k  
延暦3年(784年)11月11日に平城京から遷都  
延暦13年(794年)10月22日に平安京に遷都。

**朝堂院**は、国家の政務・儀式を行う。  
北側の長方形の区画を大極殿院、南側の正方形の区画を朝堂院と呼ぶ。長岡京の朝堂院は、東西に4つずつ計8棟。朝堂院西第四堂は西側の一・番南の4番目にあたる

↓朝堂院西第四堂跡



朝堂院西第四堂跡→



楼閣「翔鸞楼(しょうらんろう)」跡→



五辻常夜灯



向日神社鳥居



参道途中



勝山稲荷社

舞楽殿



本社拜殿と祖霊社本殿を南北につなぐ渡廊



境内本殿の奥にある向日神影向の磐座。ここに祀られているのは役行者、不動明王、弁財天他

本殿は室町時代の創建。  
檜皮葺三間社流造、国の重要文化財。  
明治神宮のモデル。  
社伝によると養老2年(718)の創建。  
『延喜式』の神名帳に「向日神社」と記載  
同神社所有の「紙本墨書『日本書紀』  
神代紀下巻」も重要文化財



元稲荷古墳前方後方墳94m3世紀後半  
向日神社北側の勝山公園内  
後方部にかつて向日神社の稲荷社があった

最古の  
前方後方墳では  
ないかと  
言われています  
桂川流域に力を  
持った王の古墳  
のようです



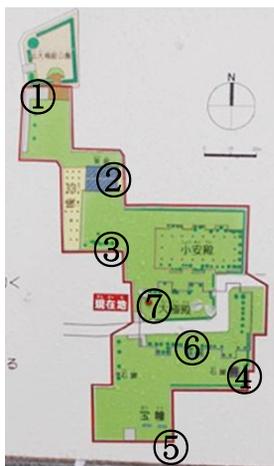
北山遺跡  
弥生時代の  
高地性集落が  
この辺りに



向日神社の脇の高台からの景色



大極殿は政務や儀式の際、天皇が臨御する場。  
小安殿は、大極殿の後ろの建物 後殿。  
長岡京に都を遷して初めて迎える延暦4年(785年)の  
元旦、大極殿の前に7本の宝幢(ほうどう=のぼり旗)が  
そびえ、儀式が行われた。



長岡宮(大極殿跡・小安殿跡)



天皇皇后両陛下下行幸啓記念碑平成22年



長岡宮跡から出土した大極殿の礎石。



築地跡



長岡宮大極殿碑

←宝幢の柱

内裏公園(内裏内郭築地回廊跡)  
北真経寺の境内から南にかけて160m四方  
に内裏の区画があった。  
警護用の屋根付きの塀の回廊跡とされる。  
北西部分の塀の柱跡を、公園のなかに復元



幅2.1m、高さ約4.5mの瓦葺きの土葺きの土塀跡、長さ約80  
m。現在では長岡京の遺跡の中で、ただ1か所、地  
上に残された都の痕跡。  
昭和54年(1979年)、道路工事の際に発見された



長岡京跡 朝堂院東第四堂跡  
(長岡宮は桜が満開でした)

